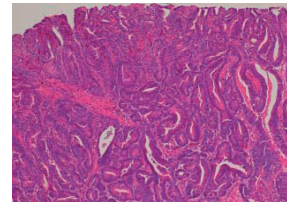


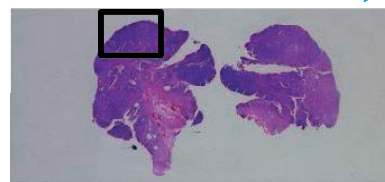
びょうりけんさ なに  
病理検査って何？

患者さんから採取された臓器や組織の一部から、ガラス標本を作り、それを顕微鏡で観察して診断を行う検査です。「胃カメラ」「大腸ファイバー」と呼ばれる内視鏡などを使ってつまみ取った組織（生検材料）や、手術で摘出された臓器や組織（手術材料）などをガラス標本にします。ガラス標本を顕微鏡で観察し、どのような病変が、どのくらい進行しているか、手術でとりきれたのか、がんの場合転移の有無などを調べます。

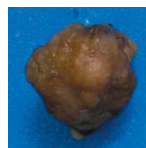
けんびきょうがそう  
顕微鏡画像



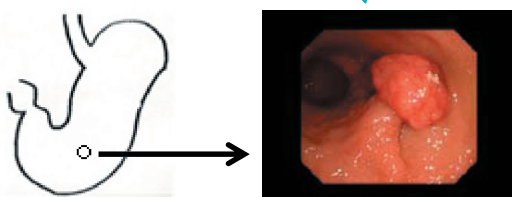
ひょうほん  
ガラス標本



ひょうほんさくせい  
標本作製



ないしきょう い  
内視鏡（胃カメラ）  
ポリープ発見！



がん以外でも手術はたくさん行われています。虫垂炎、子宮筋腫、胆のう結石などいろいろあります。また、放っておくとがんになるかもしれない大腸ポリープなども、内視鏡的手術で切除します。これらもすべて病理検査が行われます。